

# 第10回 再生可能エネルギーについて ～地熱発電2～



前回、地熱発電は色々な要因があり普及していないということをお伝えしましたが、今回は、その要因と解決のための施策をご紹介しますと思います。

地熱発電は地表から井戸を掘ることで、地下深くにある高温・高圧の蒸気や熱水を取り出す必要がありますが、その井戸を1本掘るのに数億円という費用が必要です。加えて、実際に掘削を行っても蒸気や熱水を確実に掘り当てられるわけではなく、高いリスクとコストが地熱発電の普及を妨げている要因の一つとなっています。

そこで、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC）が、地熱資源を確認するための地質調査や掘削調査など、リスクの高い初期調査に関して出資や債務保証等の支援を行ったり、JOGMEC自らが地熱資源のポテンシャル調査を行い、調査データを開発事業者提供したりするなどして、開発のリスクとコストの低減を図っています。

実際に八雲町においても、過去に鉛川地区と熊石地区でJOGMECの支援を活用した事業者により掘削調査が実施されています。



掘削調査の様子(鉛川地区)



仮噴気試験の様子(鉛川地区)

しかし、どちらの地区の掘削調査も、発電にはつながっておらず、地熱発電事業の難しさが分かります。

次回も引き続き地熱発電が普及しない要因と解決のための施策をご紹介しますと思います。

【問い合わせ先】 八雲町カーボンニュートラル推進協議会 ☎0137-62-2116



【問い合わせ先】  
商工観光労政課労政係  
☎0137-62-2116

町では、昨年4月より産業の担い手や移住定住者の確保を目的に、町内の事業所に正規雇用として就業された方を対象にU・Iターン就職奨励金制度を創設しました。  
新たに学校を卒業された方または他の市町村から転入された方を対象として1年目に現金30万円、2年目にやくも商品券20万円分が交付されます。  
なお、交付を受けるための条件がありますので、詳しい制度の内容は、町HP（左記QRコードよりアクセスできます。）でご確認いただくか、商工観光労政課労政係までお問い合わせください。

町内で正規雇用として  
就業される皆さまへ